

7

午後

(13時30分～15時30分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1A-9999 の場合

氏 名	心理 花子			受験 番号	1	A	-	9	9	9	9
	●	●			①	①	①	①			
				②	②	②	②	②	②	②	②
				③	③	③	③	③	③	③	③
				④	④	④	④	④	④	④	④
				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
				⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
				⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
				⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
				●	●	●	●	●	●	●	●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
		↓		
1	①	●	③	④

[例 2] 我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

- ① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。
- ② 元禄
- ③ 昭和
- ④ 大化
- ⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

[例 3] 次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

- ① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。
- ② 倉敷市
- ③ 仙台市
- ④ 高松市
- ⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~◎~~~~⊗~~~~⊙~~~~⊚~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 1976年のタラソフ判決で示された、心理的支援における職業倫理に関わる事項として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 正義原則
- ② 多重関係
- ③ 自己決定権
- ④ 多様性の理解
- ⑤ 秘密保持義務の適用範囲

問79 対人援助職のコンピテンシーの1つで、対象者とやりとりする中で絶えず自己を振り返り、相手への影響を考慮しつつ自己の言動を調整していくことを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己開示
- ② 反省的实践
- ③ マインドフルネス
- ④ メンタライジング
- ⑤ 関与しながらの観察

問80 移行対象の概念を提唱した人物に該当するものを1つ選べ。

- ① D. W. Winnicott
- ② M. Klein
- ③ M. S. Mahler
- ④ O. F. Kernberg
- ⑤ W. R. D. Fairbairn

問81 衝撃的な出来事やそれを知ったときの状況に関する鮮明な記憶として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 作業記憶
- ② 自伝的記憶
- ③ エピソード記憶
- ④ アイコニック記憶
- ⑤ フラッシュバルブ記憶

問82 有効成分を含まない薬剤により、被投与者に効果が現れることを表す用語として、適切なものを1つ選べ。

- ① 間接効果
- ② 順序効果
- ③ 天井効果
- ④ プラセボ効果
- ⑤ プライミング効果

問83 測定値の分散に対する真値の分散の割合で定義される値として、正しいものを1つ選べ。

- ① 相関係数
- ② 変動係数
- ③ 連関係数
- ④ 信頼性係数
- ⑤ 妥当性係数

問84 心理学実験において、統制群と実験群から得られた順序データについて、2群の分布の位置を比較する際に用いられるノンパラメトリック検定法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① F 検定
- ② t 検定
- ③ ウェルチの検定
- ④ マン・ホイットニーの U 検定
- ⑤ ウィルコクソンの符号付き順位検定

問85 ウェーバーの法則の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 感覚量は刺激の大きさの対数に比例して増加する。
- ② 刺激の大きさとその刺激の弁別閾の比は一定になる。
- ③ 感覚量はもとの刺激の大きさの「べき乗」に比例する。
- ④ 刺激には知覚できるかできないかの境になる強度がある。
- ⑤ 感覚を生じさせる対象に対する評価は心理的連続体上に分布する。

問86 学習におけるシェイピングの機能として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 直前に生じた反応の頻度が増えるようになる。
- ② 条件刺激とその他の無関連刺激を区別できるようになる。
- ③ それまでには自発していなかった反応が生じるようになる。
- ④ 他者の行動の観察後に、それに類似した行動をするようになる。
- ⑤ 刺激源への接近又は離反の方向性を持った運動を行うようになる。

問87 言語能力の生得性と関係が深い概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 類推
- ② 共同注意
- ③ 普遍文法
- ④ 状況モデル
- ⑤ 即時マッピング

問88 自律神経の節前線維から放出される神経伝達物質として、適切なものを1つ選べ。

- ① セロトニン
- ② ドーパミン
- ③ グルタミン酸
- ④ アセチルコリン
- ⑤ ノルアドレナリン

問89 説得的コミュニケーションにおいて、中心ルートと周辺ルートを仮定する理論やモデルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 接種理論
- ② 防護動機理論
- ③ 二重処理モデル
- ④ 精緻化見込みモデル
- ⑤ 心理的リアクタンス理論

問90 知覚狭小化(perceptual narrowing)の例として、生後6か月児は、ヒトもサルも個体間の顔の弁別ができるものの、その後、発達の過程で、サル個体間の顔の弁別能力が衰退していくことが挙げられる。

このことの解釈として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生後6か月以降に、視力が低下する。
- ② 顔の認知処理は、高い領域固有性を示す。
- ③ 生後6か月児は、ヒトよりもサルの顔を選好する。
- ④ 顔の全体処理の傾向は、発達が進むにつれて弱まる。
- ⑤ 生活環境内での知覚経験により、認知機能が調整される。

問91 発達のレディネスを重視して A. L. Gesell が提唱した学説として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 輻輳説
- ② 環境閾値説
- ③ 環境優位説
- ④ 成熟優位説
- ⑤ 相互作用説

問92 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉のアセスメントを行うための心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ADOS
- ② Conners 3
- ③ M-CHAT
- ④ PARS
- ⑤ WISC-V

問93 主な質問項目は決まっているが、コミュニケーションの流れによって質問項目を適宜追加したり、変更したりする面接法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 構造化面接法
- ② 調査的面接法
- ③ 臨床的面接法
- ④ 半構造化面接法
- ⑤ 非構造化面接法

問94 検査者と被検査者の面接形式での実施が必須でない心理検査を1つ選べ。

- ① CAPS
- ② HDS-R
- ③ WMS-R
- ④ AQ-J 成人版
- ⑤ ロールシャッハ・テスト

問95 クライアントの問題の成り立ち、変化、継続及び介入方法についての仮説生成を行うことを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 機能分析
- ② テストバッテリー
- ③ コンサルテーション
- ④ ケース・フォーミュレーション
- ⑤ エビデンスベースト・アプローチ

問96 特定の集団や人々に対して、他者や他集団から付与された、拭い難いほどの否定的な価値付けを表す概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ハロー効果
- ② ステレオタイプ
- ③ 内集団バイアス
- ④ 社会的スティグマ
- ⑤ ヒューリスティックス

問97 認知療法におけるセラピストの治療姿勢を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 作業同盟
- ② 治療共同体
- ③ 社会構成主義
- ④ 協同的経験主義
- ⑤ リフレクティング・チーム

問98 緊張型頭痛の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 片側性である。
- ② 非拍動性である。
- ③ 結膜の充血を伴う。
- ④ 視覚性前兆がある。
- ⑤ 日常的な動作で悪化する。

問99 生活習慣病に該当するものを1つ選べ。

- ① B型肝炎
- ② 1型糖尿病
- ③ Parkinson 病
- ④ Turner 症候群
- ⑤ 本態性高血圧症

問100 子どもに多くみられ、細菌が原因で起こる感染症として、正しいものを1つ選べ。

- ① 風疹
- ② とびひ
- ③ はしか
- ④ 手足口病
- ⑤ 水ぼうそう

問101 マタニティー・ブルーズの説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 幻覚や妄想がみられる。
- ② 症状は1か月以上持続する。
- ③ 全出産の約1%でみられる。
- ④ 約50%の患者が産後うつ病に移行する。
- ⑤ 出産後2日から5日頃が発症のピークである。

問102 覚せい剤の使用を中止した後、不眠、ストレス、飲酒、少量の再使用などによって、以前使用したときと同様の幻覚や妄想などが生じる現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 再燃
- ② 耐性
- ③ 中毒
- ④ 乱用
- ⑤ 離脱

問103 日常生活動作〈ADL〉は自立しているが、現在置かれている環境では生活が難しく、経済的にも困窮した高齢者が市町村の措置によって入所できる施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 介護医療院
- ② 養護老人ホーム
- ③ 小規模多機能型居宅介護施設
- ④ 介護老人保健施設(老人保健施設)
- ⑤ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

問104 R. N. Butler の考えに基づいて発展してきた方法で、主に高齢のクライアントに対して、写真などの物品を手がかりに、人生史や過去のエピソードを、セラピストが共感的に傾聴する心理的支援に該当するものを1つ選べ。

- ① 回想法
- ② イメージ療法
- ③ 認知再構成法
- ④ 行動活性化療法
- ⑤ リアリティ・オリエンテーション

問105 労働者の内発的動機づけによる行動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 新商品の開発が楽しかったので、時を忘れて没頭した。
- ② 昇進の道が開けると言われたので、積極的に仕事に取り組んだ。
- ③ 老後の生活資金が心配になったので、自発的に投資の勉強を始めた。
- ④ 利用客から「ありがとう」と言ってもらえることが嬉しかったので、飲食店で長期間勤務した。
- ⑤ 職場の温度環境に不満をいう同僚が多かったので、新しいエアコンの設置を会社に掛け合った。

問106 射乳や子宮収縮を促す作用があり、近年は社会性行動との関連が指摘されているホルモンとして、適切なものを1つ選べ。

- ① グレリン
- ② オレキシン
- ③ オキシトシン
- ④ バソプレシン
- ⑤ プロラクチン

問107 交感神経が優位になると起こる現象として、適切なものを1つ選べ。

- ① 血圧の低下
- ② 消化の抑制
- ③ 瞳孔の収縮
- ④ 発汗の抑制
- ⑤ 気管支の収縮

問108 軽度ないし中等度の意識混濁と、日内変動を伴う錯覚や幻覚、精神運動興奮、注意障害などを特徴とする状態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 昏睡
- ② せん妄
- ③ 夢幻状態
- ④ 明識困難状態
- ⑤ もうろう状態

問109 医療計画制度に関する説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 医療計画の作成は国が行う。
- ② 医療計画の根拠法は地域保健法である。
- ③ 医療計画では基準病床数が定められている。
- ④ 三次医療圏では日常的な初期診療を提供する。
- ⑤ 医療計画は、10年ごとに見直すことが定められている。

問110 労働時間、休憩、休日など、基本的な労働条件に関する事項を定めている法律を1つ選べ。

- ① 職業安定法
- ② 労働基準法
- ③ 労働組合法
- ④ 労働契約法
- ⑤ 労働安全衛生法

問111 心理教育的援助サービスにおける、一次的援助サービスとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 開発的カウンセリング
- ② 行動的カウンセリング
- ③ 折衷的カウンセリング
- ④ 治療的カウンセリング
- ⑤ 問題解決的カウンセリング

問112 公認心理師法で定められている内容として、誤っているものを1つ 選べ。

- ① 業務独占が認められている。
- ② 信用失墜行為が禁止されている。
- ③ 他職種との連携が義務付けられている。
- ④ 秘密保持義務違反への罰則が規定されている。
- ⑤ 公認心理師登録事項の変更について届出が義務付けられている。

問113 精神保健福祉センターが行う業務に該当しないものを1つ 選べ。

- ① 自立支援医療の判定
- ② 保健所に対する技術指導
- ③ 精神医療審査会の行政事務
- ④ 精神保健に関する普及啓発
- ⑤ 不起訴処分の心神喪失者に対する処遇申立て

問114 自閉症児にみられる主要な特徴に該当しないものを1つ選べ。

- ① 実行機能の障害
- ② 限定的で固定された興味
- ③ コミュニケーションの障害
- ④ 学童期から生じる運動機能の退行
- ⑤ 感覚刺激に対する過敏さや鈍感さ

問115 2006年にアメリカ心理学会が示した「心理学におけるエビデンスに基づく実践(EBPP)」の趣旨に沿って支援方針を決定する際の手続に含まれないものを1つ選べ。

- ① システマティックレビューから知見を得る。
- ② 治療関係についての質的研究から知見を得る。
- ③ 治療技法に関するクライアントの希望を考慮する。
- ④ ランダム化比較試験に基づく効果研究から知見を得る。
- ⑤ クライアントの文化的背景によらず、標準的な支援法を選択する。

問116 こども家庭庁が示す児童養護施設運営指針などにおける、「社会的養護の原理」に含まれないものを1つ選べ。

- ① 集団養育の推進
- ② 回復をめざした支援
- ③ 発達の保障と自立支援
- ④ 継続的支援と連携アプローチ
- ⑤ ライフサイクルを見通した支援

問117 こども家庭庁が示す児童相談所運営指針における、児童相談所の基本的機能に該当しないものを1つ選べ。

- ① 相談機能
- ② 措置機能
- ③ 一時保護機能
- ④ 自立支援機能
- ⑤ 市町村援助機能

問118 親権について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 親権は、子どもが成人したときに終了する。
- ② 親権者変更は、家庭裁判所の手続を経ずに行うことができる。
- ③ 直系血族である父母は、親権の有無にかかわらず、子どもに対して扶養義務を負う。
- ④ 未成年であっても意思能力がある子どもは、自分自身で親権喪失を申し立てることができる。
- ⑤ 親権を行う者は、子どもの利益のために子どもの監護及び教育をする権利を有し、義務を負う。

問119 再犯の防止等の推進に関する法律において、国が講ずるとされている施策に該当しないものを1つ選べ。

- ① 街頭補導
- ② 就労支援
- ③ 住居の確保
- ④ 更生保護施設に対する援助
- ⑤ 保健医療サービス及び福祉サービスの提供

問120 2018年(平成30年)に成立した、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律〈働き方改革関連法〉で規定された事項に該当しないものを1つ選べ。

- ① 健康経営の推進
- ② 時間外労働の上限規制
- ③ 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保
- ④ 長時間労働者への産業医等による面接指導の強化
- ⑤ 個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方がしやすい環境整備

問121 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 離婚後にも継続して行われる暴力は、同法の適用範囲外となる。
- ② 配偶者からの暴力は、犯罪行為をも含む重大な人権侵害行為である。
- ③ 配偶者からの暴力は、身体的暴力のみならず、精神的暴力も含まれる。
- ④ 保護命令には、被害者やその子等への接近禁止命令や被害者と同居している住居からの退去命令が含まれる。
- ⑤ 配偶者からの暴力を受けている者を発見した人は、その旨を配偶者暴力相談支援センター又は警察官に通報するよう努めなければならない。

問122 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉及び同法施行規則に定められている事項として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 婚姻を理由とした女性労働者の解雇を禁止すること
- ② セクシュアルハラスメントが生じないよう事前に対策を講ずること
- ③ 妊娠・出産等に関するハラスメントが生じないよう事前に対策を講ずること
- ④ 深夜業に従事する女性労働者の、通勤及び業務の遂行における安全を確保するよう努めること
- ⑤ 男女労働者間に生じている格差解消を目的とした、女性労働者のみを対象とした取扱いや特別な措置を禁止すること

問123 通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に対する特別支援教育について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 通級による指導の対象となる障害には、肢体不自由は含まれない。
- ② 特別支援教育に関する校内委員会は、校内の教員以外は加わることができない。
- ③ 通級による指導を受ける児童生徒に対しては、個別の教育支援計画の作成が義務付けられている。
- ④ 校内支援体制の整備は、学校を管轄する教育委員会がリーダーシップを発揮して行うことが求められている。

問124 M. Bowen や I. Boszormenyi-Nagy が主導する家族療法の中心的な着眼点として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族の構造
- ② 家族成員間のコミュニケーション
- ③ 無意識下に抑圧された幼少期の親子間の葛藤
- ④ 多世代にわたって引き継がれてきた家族内の価値観や習慣

問125 E. L. Deci と R. M. Ryan が提唱した自己決定理論における、叱られたり罰を受けたりすることを避けるために、何らかの行為を行う際の動機づけの調整スタイルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 外的調整
- ② 統合的調整
- ③ 同一化的調整
- ④ 取り入れ的調整

問126 健常成人において、安静覚醒閉眼時に出現する脳波の成分として、正しいものを1つ選べ。

- ① α 波
- ② β 波
- ③ δ 波
- ④ θ 波

問127 DSM-5 の過食性障害の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 定期的な代償行為を伴う。
- ② 過食のエピソードは空腹感によって起こる。
- ③ 過食のエピソードの後に罪悪感や嫌悪感を覚える。
- ④ 過食のエピソードでは時間をかけてゆっくり食べる。

問128 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律〈ハーグ条約実施法〉の内容として、適切なものを1つ選べ。

- ① 我が国の中央当局は法務省である。
- ② 家庭裁判所が返還を命じることができる子の年齢には、制限がない。
- ③ 家庭裁判所は、子の返還申立事件の手続においては、子の意思を把握するように努めなければならない。
- ④ 子が常居所地国に返還されることを拒んでいるときは、いかなる状況においても、家庭裁判所は、子の返還を命じてはならない。

問129 DSM-5における抑うつエピソードの主要な症状に該当するものを2つ選べ。

- ① 注意散漫
- ② 無価値感
- ③ 自尊心の肥大
- ④ 現実感消失又は離人感
- ⑤ 興味又は喜びの著しい減退

問130 地域包括ケアシステムについて、適切なものを2つ選べ。

- ① 住民による自助や互助が含まれる。
- ② 都道府県を単位として構築されている。
- ③ 高齢者の入院は、システムの対象外である。
- ④ 医師の指示書がなくても訪問看護は可能である。
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅の整備が行われている。

問131 オペラント条件づけの理論を応用したプログラム学習の要件として、適切なものを2つ選べ。

- ① 学習者のペースで進めることができる。
- ② これから学ぶ内容に関連した情報が事前に与えられている。
- ③ 課題は系列化・細分化され、難易度順に配置されて提示される。
- ④ 正誤のフィードバックは、課題を回答した後にしばらく時間を置いて提示される。
- ⑤ 科学的な法則や原理について、学習者自身が探求することを通じて推論をしていく。

問132 少年院において、特定の事情を有する在院者に対し、その有する事情の改善を図るために実施される特定生活指導に該当するものを2つ選べ。

- ① 治療的指導
- ② 家族関係指導
- ③ 問題行動指導
- ④ 暴力団離脱指導
- ⑤ 薬物非行防止指導

問133 J. L. Holland が提唱した六角形モデル (RIASEC モデル) において、パーソナリティ及び環境を示す型に該当するものを2つ選べ。

- ① 現実的 (Realistic)
- ② 対人的 (Interpersonal)
- ③ 科学的 (Scientific)
- ④ 企業的 (Enterprising)
- ⑤ 認知的 (Cognitive)

問134 犯罪被害者等基本法の内容として、正しいものを2つ選べ。

- ① 刑事補償金の支給は、基本的施策である。
- ② 犯罪被害者等による刑事手続への参加の要件が定められている。
- ③ 保健医療サービス及び福祉サービスの提供は、基本的施策である。
- ④ 犯罪被害者等による公判記録の閲覧及び謄写のための要件が定められている。
- ⑤ 「犯罪等」とは、犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為をいう。

問135 ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉に関連する用語として、適切なものを2つ選べ。

- ① フロー
- ② モデリング
- ③ リハーサル
- ④ ジョイニング
- ⑤ パフォーマンス課題

問136 大学生 40 人が 20 人ずつ A と B の 2 群に割り当てられ、両群とも実験室で極めて退屈な作業課題に 1 時間従事した後、別の参加者にその課題が面白かったと伝えるよう指示された。ただし、A 群の実験参加に対する謝金は 300 円であり、B 群の謝金は 6,000 円であった。作業後に、作業がどの程度楽しかったかについて評定を求めたところ、A 群の楽しさの平均値は B 群の楽しさの平均値よりも有意に高かった。

この現象を説明する理論として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 役割理論
- ② SVR 理論
- ③ バランス理論
- ④ 社会的比較理論
- ⑤ 認知的不協和理論

問137 1歳6か月の女兒A、乳児保育園に通園中。Aは、1か月前に入園後、登園時における母親Bからの分離不安が強く、執拗に激しく泣き続ける。そのため、Bが耐えられなくなり、そのまま家に連れ帰ったことも数回ある。分離が可能な日も、園では長くぐずった状態が続き、とりわけ担当保育者に対するしがみつきや後追いが、ほぼ1日中、持続してしまうこともある。夕方、Bが迎えに来ると、AはすぐにBに近接しようとするが、怒りながら泣き叫ぶことが多く、容易になだめられない。

Aの行動の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 回避型アタッチメント
- ② 脱抑制型対人交流障害
- ③ 反応性アタッチメント障害
- ④ アンビバレント型アタッチメント
- ⑤ 無秩序・無方向型アタッチメント

問138 65歳の男性A、自営業。家族に連れられて精神科クリニックを受診した。家族によると、Aは、3年前から、睡眠中に大声を出したり、手足を振り回したりするようになった。また、1年前から孫の名前を思い出せなくなり、日常生活での物忘れも増えたが、後で思い出すことも多かった。この頃から、Aは、「廊下で子どもが遊んでいる」、「靴から虫がたくさん出てくる」、「自分の布団に子どもが寝ている」などと訴えるようになったが、家族が確認してもその事実はなかった。さらに、散歩中に足が動きにくくなり転倒が増えた。絵画教室にも通っていたが、以前のように描けなくなり、いらいらすることも増えた。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② 前頭側頭型認知症
- ③ Lewy 小体型認知症
- ④ Alzheimer 型認知症
- ⑤ 変換症／転換性障害(機能性神経症状症)

問139 21歳の女性A、両親と同居中。アルバイトが長続きせず、家に閉じこもっていることを心配した親に連れられて、精神科クリニックを受診した。Aによると、小学生の頃から人前で話すのが苦手で、中学、高校でも、人から見られていると思うと強い不安を感じ、学校も休みがちであった。アルバイトでは、他の従業員が集まっているスタッフルームに後から入るときや、昼休みの雑談のときなどに特に緊張が高まって、欠勤してしまうことが増え、アルバイトを辞めてしまうことを繰り返していたという。

Aの病態評価のために行う心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CARS
- ② LSAS-J
- ③ PDSS
- ④ POMS
- ⑤ SDS

問140 25歳の男性A、両親と同居中。Aは、高校生のおきにうつ状態になり、高校中退後、何も手につかず、目標を失った生活を送っていた。1年前から、公認心理師Bのカウンセリングを受け始めた。面接では、大学に進学できた同級生たちのことを、「恵まれた奴ら」であるとのしり、次第にBに対しても、「恵まれた人間であり、自分のことを見下している」と非難するようになった。ある日の面接で、Bは自身のスケジュールを勘違いし、次回の面接を、翌週に面接ができるにもかかわらず、翌々週に設定した。

AとBの関係の中で生じているBの勘違いを精神分析の概念を用いて検討する上で、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 外在化
- ② 行動化
- ③ 知性化
- ④ 直面化
- ⑤ 同一化

問141 20歳の男性A、医療系大学生。下痢と腹痛を訴え、内科クリニックを受診した。Aによると、半年前から学外の病院に実習で通うことになった。その頃から、ストレスを感じるようになり、下痢が始まった。3か月前からは、腹痛を伴うようになっている。実習がある日は、排便の頻度が1日10回程度に増え、何度もトイレに駆け込んでしまったことがある。トイレに行くことを周囲の学生に気づかれるのではないかと不安で、実習に行くことが怖いという。症状は排便によって改善し、実習がない日の便通や便の形状は正常である。内科的検査が行われたが、異常は認められなかった。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 社交不安症
- ② 広場恐怖症
- ③ 潰瘍性大腸炎
- ④ 過敏性腸症候群
- ⑤ 機能性ディスぺプシア

問142 40歳の女性A、夫Bと二人暮らし。Bが健康診断で肝機能障害を指摘されたため、AはBの付き添いで総合病院に来院した。Bは2年前にアルコール関連の問題を起こし、職場で処分を受けた。しかし、その後も、Bの飲酒量は減らず、半年前から欠勤が増えている。Aは、飲酒を止めるように常に言い聞かせ、健康に配慮した食事を作るなど、懸命にBをサポートしている。一方で、酔ったBから暴力を受け、不眠がちになり、両親から離婚を勧められたが、「Bには私が必要だから」と言って同意しない。担当医はBの入院治療を提案したが、Aは、「私が世話をできるので入院は不要です」と言って、頑なに拒否する。

Aの状態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 共依存
- ② 抑うつ
- ③ 誇大妄想
- ④ 情動麻痺
- ⑤ 見当識障害

問143 9歳の男児A、小学3年生。母親BがAの家庭や学校の様子を心配に思い、スクールカウンセラーに相談した。Bによると、Aは、幼少時から全般的な発達に遅れはなかった。しかし、熱心に取り組もうとするものの、一人で着替えるのに時間がかかり、箸やスプーンを使うことも苦手である。縄跳びや自転車に乗ることがうまくできない。また、書字では、マス目に沿って書くことができなかつたり、力を入れすぎてノートを破つたりするため、学校生活に支障が出始めている。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 脱抑制型対人交流障害
- ② 常同運動症／常同運動障害
- ③ 反抗挑発症／反抗挑戦性障害
- ④ トウレット症／トウレット障害
- ⑤ 発達性協調運動症／発達性協調運動障害

問144 55歳の男性A、80歳の母親Bと二人暮らし。民生委員Cから、AとBについての相談が地域包括支援センターに寄せられた。Cによると、AとBは仲の良い家族として知られていた。数年前まで、一緒に買い物や団地の行事に出かける二人と話をすることも多かった。しかし、半年前からBが外出する姿を全く見かけなくなった。また、1か月前から怒鳴り声や悲鳴、皿が割れる音などが部屋から時折聞こえるようになった。気になったCが部屋を訪ねると、Aは玄関先に出て来たが、「母も自分も元気です」と素気なく返事をするだけであった。室内にはゴミが散乱していた。

現時点における地域包括支援センターの対応として、優先されるものを1つ選べ。

- ① 介護サービス利用の促進
- ② 自立支援型マネジメント
- ③ 地域ケア推進会議の開催
- ④ 介護予防ケアマネジメント
- ⑤ 事実確認のための家庭訪問

問145 17歳の女子A、高校2年生。高校1年生の頃、Aは、勉強に励んでいて、成績も良かった。その甲斐もあって、高校2年生になると、ある教科の能力別クラス編成では、一番成績の良いクラスに入った。しかし、そのクラスでは、テストの問題が難しくなり、Aが一生懸命勉強しても、良い成績が取れなくなってしまった。Aは、良い成績を取るために、テスト勉強の時間を増やすなど、できる限りの努力をしたが、成績は低いままであった。Aは、一般のクラスに移りたいと希望したが、親の反対により移れなかった。その後も、Aの成績は上がらず、勉強に励む様子もみられなくなった。

Aの現在の状態を説明する概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 原因帰属
- ② 学習性無力感
- ③ 自己調整学習
- ④ 内発的動機づけ
- ⑤ 防衛的悲観主義

問146 10歳の男児A、小学4年生。Aの保護者Bが発達の遅れを主訴として、Aと共に教育センターに相談に訪れ、AにWISC-IVが実施された。その結果は、全検査IQや全ての領域で低い(境界域)水準にあり、4つの指標得点に有意な差はなかった。そのアセスメント報告書を基に、Aの小学校のスクールカウンセラーCが、AとBにそれぞれ面談を行った。Aはリラックスして、学校生活についてCに話してくれた。Bは、今後、Aが学校に行きたくないと言い出したりするのではないかと心配していた。

Cが、Bの話に基づいて、学校生活に結び付くAの傾向をアセスメントするために用いる心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① GHQ
- ② KABC-II
- ③ MMPI
- ④ TEG
- ⑤ Vineland-II

問147 35歳の女性A、会社員。半年前に経験者採用で入社した。先月に実施されたストレスチェックの結果、高ストレス者に該当するか否かを判断する補足的な面接を公認心理師Bが行った。Aのストレスプロフィールは次のとおりであった。「心理的な仕事の負担(質)」、「心理的な仕事の負担(量)」、「職場環境によるストレス」は低い。「技能の活用度」、「仕事の適性度」、「働きがい」が低い。ストレス反応は「活気」が低く、「不安感」が強い。「上司からのサポート」、「同僚からのサポート」、「家族や友人からのサポート」が高い。

BのAへの面接で確認すべき事項として、優先度の高いものを1つ選べ。

- ① 長時間労働の有無
- ② 家庭生活における葛藤の有無
- ③ キャリアに関する悩みの有無
- ④ 職場の作業環境の問題の有無
- ⑤ 同僚との人間関係における問題の有無

問148 8歳の女兒A、小学2年生。両親に連れられて総合病院小児科を受診した。両親によると、Aは、入眠して1、2時間後にベッドから起き上がり、ぼんやりとした表情で寢室を歩き回ることがある。ドアを開けて隣の部屋に行くこともある。声をかけるとうなづく程度の反応はあるが、覚醒することはない。不自然な身体の動きや、尿失禁はない。10分程度でベッドに戻り、朝まで眠る。翌朝、Aに聞いても何も覚えていない。以上のようなエピソードが月に数回あるという。日中の行動に問題はなく、学校の成績も平均的である。既往歴はなく、薬剤は服用していない。身体診察でも異常は認められなかった。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 解離性障害
- ② 睡眠時遊行症
- ③ ウイルス性脳炎
- ④ 特発性全般てんかん
- ⑤ 急性一過性精神病性障害

問149 29歳の女性A、会社員。「電車に乗ろうとすると怖くなって、気分が悪くなる」と訴えて、精神科クリニックを受診した。Aによると、今年の夏休みに花火大会に出かけた帰りの電車の中で、突然、息苦しさ、激しい動悸、めまいに襲われ、途中の駅で降りた。その日は駅のベンチでしばらく休んだ後、タクシーで帰宅できたが、その後、通勤のため電車に乗っているときに何度も同じような症状に襲われたことから、電車に乗ることが怖くなった。今では、「また同じようなことが起きたら死んでしまうかもしれない」と強い不安を感じ、電車通勤を避けている。

Aに対する認知行動療法に該当しないものを1つ選べ。

- ① 安全確保行動の継続
- ② Aの症状に関する心理教育
- ③ 電車に乗ることの段階的経験
- ④ 不安につながる認知の再検討
- ⑤ 息苦しさや動悸など不安な身体感覚の意図的体験

問150 13歳の男子A、中学1年生。Aは、家出を繰り返し、学校にも登校していない。Aは、万引きを繰り返したため、児童相談所が在宅で指導を行っていた。しかし、改善がみられず、児童自立支援施設への入所措置が検討されたが、父母の反対により入所に至らなかった。Aは再び家出中に万引きをし、逃げる際に店員を突き飛ばし重傷を負わせた。児童相談所から事件を送致された家庭裁判所は、Aに対し観護措置を執り、審判の期日となった。

家庭裁判所がAへの審判において、選択できない処分を1つ選べ。

- ① 試験観察
- ② 保護観察
- ③ 検察官送致
- ④ 少年院送致
- ⑤ 児童自立支援施設送致

問151 30歳の女性A、会社員。Aは、社内の心理相談室に自発的に来談した。心理相談室に勤務する公認心理師Bが話を聞いたところ、Aは、「1年前から上司Cに無視され、会社の役に立たないから退職したほうがいいんじゃないか、などと言われる。勤務中に急に涙が出て、夜も眠れない。心身ともに不安定になっていてつらい」と述べている。

Bの対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① ハラスメント相談窓口の利用方法をAに説明して、相談を勧める。
- ② Aに職場に対する今の心境や就労についての思いを話してもらう。
- ③ Aの心身の不安定な状態への対応として、社内の産業医と連携する。
- ④ Aの意向を聴いて人事部門等と連携する必要があるかどうか検討する。
- ⑤ 事実関係を聞き取り、Cの言動がパワーハラスメントであることをAに伝える。

問152 21歳の男性A、大学3年生。Aは、学生相談室を訪れ、「就職活動を始めたいが、どこから手をつけてよいか分からない」と申込み用紙に記入した。相談室でAは、「これまで就職について考えたこともなく、自分にどのような仕事が合うのか、自分の性格的特徴は何かと問われても、よく分からない。2週間前にサークルの同期の友人からインターンでの体験を聞き、自分が出遅れていると感じる」と焦りを訴えつつも、「その他に特に困っていることはない」と話した。

現段階でAのニーズに応じて実施する心理検査として、適切なものを2つ選べ。

- ① BDI-II
- ② CMI
- ③ IES-R
- ④ NEO-FFI
- ⑤ VPI

問153 11歳の男児A、小学5年生。Aは、親の経済的困難のため、2歳のときに地域小規模児童養護施設に入所した。両親は、Aの入所後しばらくは面会に来ていたが、最近連絡が途絶えている。ある日、施設の公認心理師Bは、Aの担当ケアワーカーCから相談を受けた。Cによると、Aは元来穏やかな性格であるが、最近、親との記念写真を捨ててしまったり、居間でAが得意とする工作をしているときに、年少児に作品を壊されたと激怒したりと、情緒不安定な様子がみられる。あるとき、CがAに自室で作るよう言うと、「ここは僕の家だ。どこでも好きな所で作る権利が僕にはある」と泣いて主張した。

BとCの対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 集団生活のルールをAと一緒に考える。
- ② ト라우マに焦点づけた認知行動療法を導入する。
- ③ 児童相談所に対して、一時保護の措置を依頼する。
- ④ Conners 3を実施して、その結果を基に支援計画を作成する。
- ⑤ Aの両親の現状と今後の見込みについて、児童相談所に確認し、Aへの伝え方を検討する。

問154 9歳の女兒A、小学3年生。Aは、限局性学習症／限局性学習障害と診断され、通級による指導を受けている。通常の学級におけるAの授業中の読み書きの困難さとして、「黒板の字を写すのに時間がかかる」、「教科書を読んでも字や行をとばして読んでしまう」、「語や文章を不自然に区切って読むことがある」、「どこを読んでいるかを追いかけることが難しくなる」、「文字が枠からはみ出す」、「形態的に似ている文字の誤りが多い」などがある。手先の不器用さは目立たないが、書くことを避ける傾向にある。

教室において、Aが授業に参加できるようにする読み書きの支援として、適切なものを2つ選べ。

- ① 利き手を確立するように働きかける。
- ② メモを用いて発表する練習をさせる。
- ③ 単語や文のまとまりごとに、スラッシュを入れる。
- ④ 教室の掲示物を整理して、視覚的に余計な刺激をなくす。
- ⑤ 黒板に書く文章と同じものをプリントにし、手元に置いて写し書きをさせる。

